

事前評価個表

整理番号	12
------	----

地域（地区）名	富士	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	静岡県	対象市町村	富士市ほか8市町
事業実施期間	H28～H32（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、静岡県の東部に位置し、西部は、静岡地区、東部は箱根外輪山を境に神奈川県、北部は富士山を境に山梨県に接し、南部は駿河湾及び伊豆地区に面する富士市ほか8市町からなっている。</p> <p>本地区の森林面積は79千ha（森林率57%）、対象民有林は56千ha（森林全体の70%）、うち人工林は40千ha（人工林率72%）となっており、戦後の富士山麓及び箱根山麓造林事業によって造成されたヒノキを主体とする人工林地帯である。人工林の齢級別内訳は、XI齢級をピークとし、XII齢級以上が全体の44%を占めている。</p> <p>近年、利用間伐等の推進により森林の整備は進んできてはいるが、依然として、成長した森林資源に見合った利活用が進まず、整備の行き届かない森林も見受けられる。</p> <p>このため、更なる施業の集約化を推進し、本事業により森林作業道の開設と一体的に間伐等の施業を実施することで、低コスト化を図りながら適正な森林整備を行い、森林の持つ水源涵養、土砂流出・崩壊防止及び生活環境の保全等の機能を確保するとともに、成熟した資源の循環利用を図る。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,730ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐等</p> <p>総事業費：2,091,780千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 3.13 (総便益(B) = 6,828,844千円、総費用(C) = 2,181,683千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林の公益的機能の確保に必要である。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：地域森林計画に即した事業内容で有り、地区の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業だと認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名:森林環境保全整備事業

都道府県名:静岡県

地域(地区)名:富士

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	1,650,025	
	流域貯水便益	625,878	
	水質浄化便益	1,441,128	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,886,527	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,225,286	
総 便 益 (B)		6,828,844	
総 費 用 (C)		2,181,683	
費用便益比	$B \div C = \frac{6,828,844}{2,181,683} = 3.13$		

森林環境保全整備事業 富士地域（静岡県）



凡例	
計画区界	— (Green line)
事業区域	— (Yellow line)
森林整備	— (Red line)

